

Le Soleil

ル・ソレイユ 2022年12月23日 №10

新しい言葉？

今回の学年通信は、1年の最後、12月の最終登校日に発行ということもあり、普段から身近にある「言葉」について考える号にしたいと思います。

文化庁が今年公表した世論調査によると、コロナ関連の言葉で「そのまま使うのがいい」が多かったのは、「おうち時間」69.1%、「不要不急」67.2%、「コロナ禍」66.8%、「黙食」64.9%、「三密」61.1%だったのに対し、「ウィズコロナ」29.7%、「ブースター接種」「ブレークスルー感染」12.9%などのカタカナが入った語は低い値だったそうです。年代別に「そのまま使う」の割合をみると、「ステイホーム」や「ソーシャルディスタンス」などのカタカナ語は年代が上がるほど低くなる傾向が見られました。



また、コロナ関連以外の言葉の理解についても見てみると、【がぜん】を本来の「急に、突然」と理解している人は23.6%で、本来と異なる「とても、断然」が67.0%。【破天荒】は本来の「誰も成し得なかったことをすること」が23.5%で、「豪快で大胆な様子」が65.4%に上りました。

更に、「とてもおいしい」の意味で、「めっちゃおいしい」を使うことがあるのは57.9%に上った一方、同じ強調でも「とてもかわいい」を「鬼かわいい」と言うのは4.8%しかいませんでした。他人が使うのは気にならないと答えたのは、【めっちゃ】は80.5%、【鬼】は26.1%でした。



新表現の使用では、「騒ぐほどではないが確かに痛い」の意味で【じみに痛い】と言うことがあるのは39.8%、「すぐ帰る」を【そっこう帰る】は39.0%、「そっくり全部わかる」を【まるっとわかる】は10.7%。「めっちゃ」「じみに」は10~20代で使う人が90%を超え、年代が上がるほど割合が減っています。他人が使うのは気にならないと回答したのは、「じみに」62.1%、「そっこう」66.8%、「まるっと」36.3%でした。

いわゆる「ら抜き言葉」の状況も調査していて、「見れた」52.5%、「来れます」52.2%で、「見られた」46.2%、「来られます」46.4%をそれぞれ上回った。ただし、「考えられない」93.8%、「食べられない」65.2%のように、きちんと「ら」を入れた回答の方が「考えれない」「食べれない」より多かった語もあります。



言葉は確かに生きているものなので、時代時代に合わせた変化は当然生じるでしょう。しかし、それも正しい用法をきちんと習得した上で使いこなしていくのならまだしも、特定の人にしか通じない用法をあたかも当然のように振りかざすのは賢明とは言えません。おまけに、現代では従来の「話し言葉」と「書き言葉」の他に、「打ち言葉」と呼ばれるものまであります。「おk」（OKを表す）、「うp」（アップロードの意）、「垢」（アカウント）、「乙」（お疲れ様）、「草」（www、笑う意）、「〇〇▲」（〇〇さんカッケェ[かっこいい]）など、もはや視覚的なものまで言葉に取り込む時代なのです。来月、また年が変われば色々と「新しい言葉」を目に（耳に）するようになるでしょう。何も古色蒼然とした耳慣れない言葉に「とら（寅）」われるべきだと言っているのではありません。自分の中にしっかりとしたブレない言葉の軸をもちましょ「う（卯）」と言っているのです。来年はもっとも言葉の細部にまでこだわっていききたいものです。

★1月の予定★

日	主な行事予定	日課	学年の予定
1日(祝)	2023年 元旦		
2日(月)			
3日(火)			
4日(水)	仕事始め		
5日(木)			
6日(金)			
7日(土)	七草粥		
8日(日)			
9日(祝)	成人の日		
10日(火)	始業式 留守番電話利用施行開始	始業式、学活	通知表/キャリアパスポート提出
11日(水)	学年日課(45×4)	学年①～④	①理科②学年集会③国語④学活
12日(木)	特別日課(45×4)	水①②、金⑥金⑥	
13日(金)	給食開始	木⑥⑤④③②①	午前中:2学年救命救急講習(1クラスずつ)
14日(土)			
15日(日)			
16日(月)	専門委員会	月①～⑤	
17日(火)	木曜日課	木①～⑥	
18日(水)	浦教研	水①～④	
19日(木)	火曜日課	火①～⑥	
20日(金)		金①～⑥	
21日(土)	特別日課(1年働クエストの為)	水③④月⑤金⑥	
22日(日)			
23日(月)	振替休日		
24日(火)		火①～⑥	
25日(水)		水①～⑤	
26日(木)		木①～⑥	
27日(金)		金①～⑥	
28日(土)			
29日(日)			
30日(月)		月①～⑤	
31日(火)		火①～⑥	

※ 日課は変更することがあります。